



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 リバーエレテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 天野 伸幸

TEL 0551 - 22 - 1211

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,420	35.8	995	155.3	991	183.5	829	137.5
2021年3月期第3四半期	3,992	23.2	389	—	349	—	349	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 915百万円 (171.3%) 2021年3月期第3四半期 337百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	98.35	98.19
2021年3月期第3四半期	47.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	9,192	3,581	39.0	415.04
2021年3月期	7,903	1,631	20.6	215.80

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,581百万円 2021年3月期 1,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,350	34.7	1,230	113.1	1,210	127.7	1,009	80.7	118.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	8,692,652 株	2021年3月期	7,592,652 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	62,598 株	2021年3月期	62,550 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	8,438,809 株	2021年3月期3Q	7,372,811 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の拡大にともない回復基調が続いていましたが、世界的な半導体等の部品不足やサプライチェーンの混乱による供給制限によって生産活動への影響が出てきており、長期化する恐れもあります。また、新型コロナウイルスの変異株による急速な感染拡大も見られ、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループにおきましては、社員の安心安全と製品の供給体制の継続性を最優先に考慮して、新型コロナウイルスの感染拡大防止に最大限努めております。なお、中国における新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響により中国の製造拠点の減産を余儀なくされましたが、当四半期連結業績に与える影響は軽微であります。

製品別においては、主力の小型音叉型水晶振動子の旺盛な受注継続を背景に販売が好調であり、MHz帯の水晶振動子も収益性の高い高周波・小型製品を中心に販売が好調でした。アプリケーション別においては、第2四半期連結累計期間で半導体不足の影響を受けたスマートフォン向けは、受注に回復の兆しが見られたほか、引き続き、無線モジュール向けがLPWA (Low Power Wide Area) 等のIoT関連を中心に好調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を1,428,204千円上回り5,420,211千円（前年同期比35.8%増）となりました。また利益につきましては、営業利益は995,363千円（前年同期比155.3%増）、経常利益は991,724千円（前年同期比183.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は829,915千円（前年同期比137.5%増）となりました。売上高営業利益率は、18.4%と引き続き高い水準で推移しております。当第3四半期連結累計期間においては、2期連続の増収増益となり、いずれの利益も過去最高益を更新しました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては、第1四半期連結累計期間より記載を省略しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等）」の「（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加363,992千円、受取手形及び売掛金の増加368,528千円、原材料及び貯蔵品の増加202,607千円、機械装置及び運搬具の増加384,566千円、建設仮勘定246,819千円の減少等により、前連結会計年度末から1,289,434千円増加し、9,192,786千円となりました。

負債合計は、短期借入金の減少325,015千円、設備関係支払手形310,946千円の減少等により、前連結会計年度末から660,651千円減少し、5,610,965千円となりました。

純資産合計は、資本金の増加561,602千円、資本剰余金の増加561,602千円、利益剰余金747,857千円の増加等により、前連結会計年度末から1,950,085千円増加し、3,581,820千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は598,198千円(前年同期は394,265千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益990,562千円、減価償却費414,991千円、売上債権の増加337,876千円、棚卸資産の増加155,171千円、前受金の減少145,966千円、法人税等の支払額128,959千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,007,899千円(前年同期は461,009千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出571,890千円、定期預金の払戻による収入563,760千円、有形固定資産の取得による支出992,472千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は704,389千円(前年同期は29,314千円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の減少額(純額)325,015千円、長期借入れによる収入900,000千円、長期借入金の返済による支出884,794千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,104,991千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月18日に公表しました2022年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2022年2月10日)公表しました「通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,713,296	2,077,289
受取手形及び売掛金	1,271,330	1,639,858
商品及び製品	123,282	85,017
仕掛品	470,207	472,678
原材料及び貯蔵品	574,223	776,831
その他	302,006	378,961
貸倒引当金	△22,020	△24,023
流動資産合計	4,432,327	5,406,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	332,751	399,092
機械装置及び運搬具（純額）	1,376,117	1,760,683
工具、器具及び備品（純額）	83,410	118,507
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	21,433	96,139
建設仮勘定	798,659	551,840
有形固定資産合計	3,027,801	3,341,691
無形固定資産		
ソフトウェア	2,026	6,545
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	11,492	16,011
投資その他の資産		
投資有価証券	60,440	67,115
繰延税金資産	215,754	215,553
その他	155,535	145,801
投資その他の資産合計	431,730	428,469
固定資産合計	3,471,025	3,786,173
資産合計	7,903,352	9,192,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,783	345,301
短期借入金	1,101,514	776,498
1年内返済予定の長期借入金	1,170,389	1,135,352
未払法人税等	92,838	131,102
賞与引当金	97,103	73,705
設備関係支払手形	558,679	247,732
その他	608,114	459,242
流動負債合計	3,941,422	3,168,935
固定負債		
長期借入金	1,909,236	1,959,479
繰延税金負債	34	37
役員退職慰労引当金	123,350	118,540
退職給付に係る負債	288,938	288,004
その他	8,634	75,968
固定負債合計	2,330,194	2,442,029
負債合計	6,271,617	5,610,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,227	1,681,829
資本剰余金	82,243	643,845
利益剰余金	601,571	1,349,428
自己株式	△9,235	△9,304
株主資本合計	1,794,806	3,665,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△325	△2,312
為替換算調整勘定	△169,499	△81,665
その他の包括利益累計額合計	△169,825	△83,978
新株予約権	6,754	-
純資産合計	1,631,735	3,581,820
負債純資産合計	7,903,352	9,192,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,992,007	5,420,211
売上原価	2,811,353	3,520,918
売上総利益	1,180,654	1,899,293
販売費及び一般管理費	790,717	903,929
営業利益	389,936	995,363
営業外収益		
受取利息	2,062	892
受取配当金	1,877	1,963
為替差益	-	21,368
技術指導料	-	20,000
その他	9,148	8,381
営業外収益合計	13,088	52,605
営業外費用		
支払利息	39,446	47,055
為替差損	11,396	-
株式交付費	-	6,778
その他	2,362	2,410
営業外費用合計	53,206	56,244
経常利益	349,818	991,724
特別利益		
固定資産売却益	4	245
特別利益合計	4	245
特別損失		
固定資産除却損	414	1,298
投資有価証券評価損	160	97
投資有価証券売却損	-	11
特別損失合計	574	1,406
税金等調整前四半期純利益	349,248	990,562
法人税、住民税及び事業税	56,343	163,927
法人税等調整額	△56,538	△3,280
法人税等合計	△195	160,646
四半期純利益	349,444	829,915
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,444	829,915

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	349,444	829,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,814	△1,987
為替換算調整勘定	△16,743	87,834
その他の包括利益合計	△11,929	85,846
四半期包括利益	337,514	915,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,514	915,762

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	349,248	990,562
減価償却費	323,688	414,991
貸倒引当金の増減額(△は減少)	61	237
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,512	△23,398
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,950	△4,810
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,449	△934
受取利息及び受取配当金	△3,940	△2,855
支払利息	39,446	47,055
為替差損益(△は益)	6,865	△28,068
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△245
有形固定資産除却損	414	1,298
投資有価証券売却損益(△は益)	-	11
投資有価証券評価損益(△は益)	160	97
株式交付費	-	6,778
売上債権の増減額(△は増加)	18,183	△337,876
棚卸資産の増減額(△は増加)	△196,626	△155,171
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,619	34,015
未収入金の増減額(△は増加)	4,795	△2,585
未払金の増減額(△は減少)	△4,763	△286
前受金の増減額(△は減少)	△77,352	△145,966
その他	△57,131	△23,607
小計	439,336	769,241
利息及び配当金の受取額	3,926	2,853
利息の支払額	△36,495	△44,936
法人税等の支払額	△12,818	△128,959
法人税等の還付額	316	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	394,265	598,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△544,080	△571,890
定期預金の払戻による収入	451,365	563,760
有形固定資産の取得による支出	△364,696	△992,472
有形固定資産の売却による収入	4	2,064
無形固定資産の取得による支出	-	△5,249
投資有価証券の取得による支出	△4,571	△4,616
投資有価証券の売却による収入	-	17
その他	967	487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,009	△1,007,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△69,408	△325,015
長期借入れによる収入	898,333	900,000
長期借入金の返済による支出	△793,622	△884,794
リース債務の返済による支出	△5,962	△9,923
自己株式の取得による支出	△26	△68
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,104,991
配当金の支払額	-	△80,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,314	704,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,784	50,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,213	345,534
現金及び現金同等物の期首残高	1,084,945	1,135,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,731	1,480,917

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ561,602千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が1,681,829千円、資本剰余金が643,845千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、輸出取引については、主として船積時に収益を認識しておりましたが、財又はサービスを顧客に移転し当該履行義務が充足された一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,769千円減少し、売上原価は155千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,614千円減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,942千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,257千円減少しております。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期について、当初2022年3月期末までには収束に向かうものと仮定していましたが、直近の動向や入手可能な情報を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は2023年3月期末まで一定期間にわたり及ぶものと仮定の見直しを行い、会計上の見積り(主に繰延税金資産の回収可能性)を行っております。この仮定の見直しに伴う四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

なお、会計上の見積りについては、実績及び中・長期計画を含む将来に関する情報に基づき適切に算出しておりますが、予測不能な前提条件の変化により当該見積りに変動が生じた場合には、当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,964,726	27,281	3,992,007	3,992,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,964,726	27,281	3,992,007	3,992,007
セグメント利益又は損失（△）	355,399	△5,580	349,818	349,818

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	349,818
四半期連結損益計算書の経常利益	349,818

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

当社グループは、水晶製品以外にその他の電子部品事業を営んでおりますが、当社グループの業績における重要性が乏しく、報告セグメントは水晶製品のみとなるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、「その他の電子部品」の量的な重要性が低下したことに伴い、報告セグメントを「水晶製品」のみに変更し、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他の事業 (注)	合計
	水晶製品		
日本	1,228,077	8,806	1,236,884
中国	1,579,954	-	1,579,954
台湾	1,578,619	3,205	1,581,825
その他	993,390	28,156	1,021,547
顧客との契約から生じる収益	5,380,042	40,169	5,420,211
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	5,380,042	40,169	5,420,211

(注) 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の電子部品事業であります。